

製品名: AMPK ベータ 1 (1A7) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03496**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 30 kDa; Observed MW: 38 kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKAB1
別名	5' '-AMP-activated protein kinase subunit beta-1; AMP-activated; noncatalytic; beta-1; AMPK; AMPK beta 1 chain; AMPK subunit beta-1; AMPK-BETA-1; AMPKb; HAMPKb; PRKAB1
遺伝子 ID	5564
SwissProt ID	Q9Y478
免疫原	ヒト AMPK ベータ 1 の合成ペプチド

背景

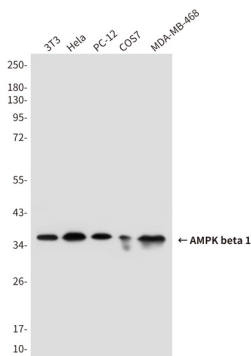
AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) は、酵母から植物、動物に至るまで高度に保存されており、エネルギー恒常性の調節にお

いて重要な役割を果たしています。AMPKは、触媒 α サブユニットと調節 β サブユニットおよび γ サブユニットからなるヘテロ三量体複合体であり、各サブユニットは2つまたは3つの異なる遺伝子 ($\alpha 1, 2; \beta 1, 2; \gamma 1, 2, 3$) によってコードされています。

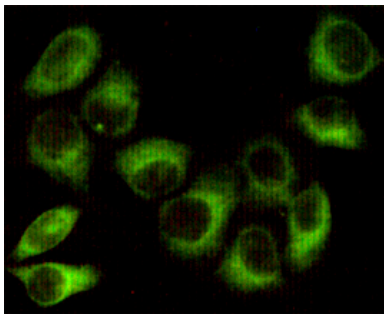
研究分野

シグナル伝達

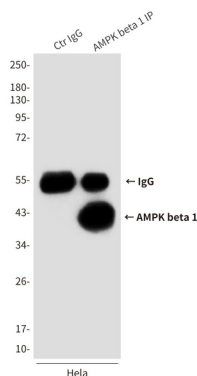
画像データ



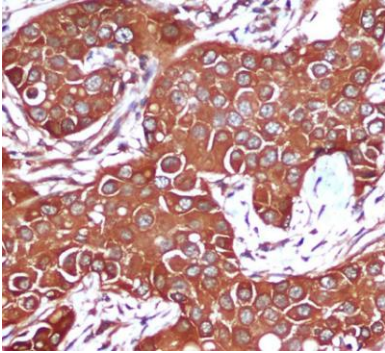
AMPK ベータ 1 抗体を使用した 3T3、HeLa、PC-12、COS7、および MDA-MB-468 溶解物中の AMPK ベータ 1 のウェスタンブロット分析。



AMPK ベータ 1 抗体を使用した HeLa の AMPK ベータ 1 (1A7) の免疫細胞化学分析。



AMPK ベータ 1 抗体を使用した HeLa 溶解物中の AMPK ベータ 1 (1A7) の免疫沈降分析。



AMPK ベータ 1 抗体を使用したパラフィン包埋乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。